【資料2】

令和7年8月5日

第4回 清洲橋通り南

道路整備沿道協議会

千代田区環境まちづくり部道路公園課

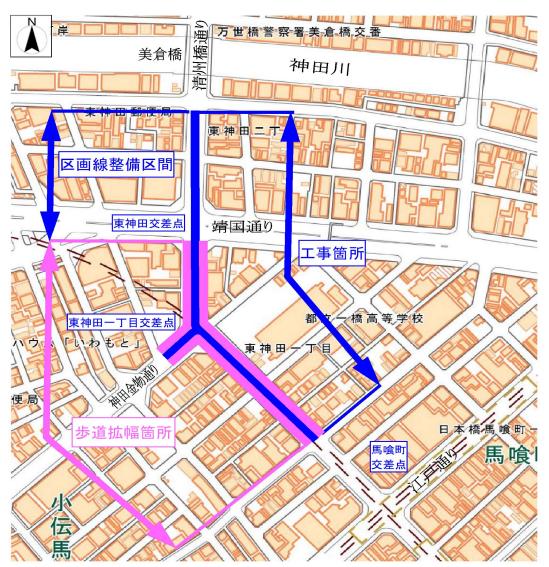
▶清洲橋通り(靖国通り以南)の道路整備について

(1)道路整備検討箇所

路線名 :特別区道千第789号

整備箇所:千代田区東神田二丁目4番先~

中央区日本橋馬喰町一丁目8番先



(2)現況写真



東神田交差点より南側

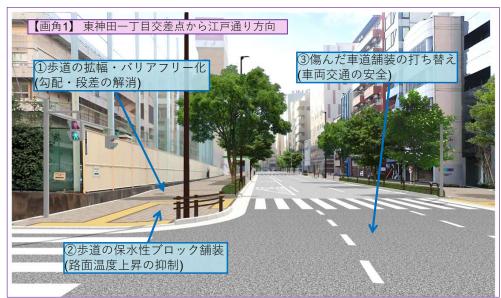


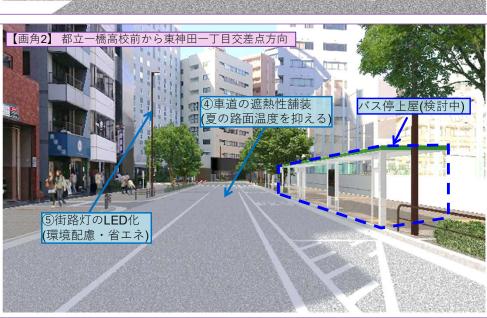
東神田一丁目交差点より南側

(3)道路整備の概要

- ①歩道の拡幅・バリアフリー化(勾配・段差の解消)
- ③傷んだ車道舗装の打ち換え(車両交通の安全)
- ⑤街路灯のLED化(環境配慮・省エネ)
- ⑦自転車通行空間整備(歩行者と自転車の分離)

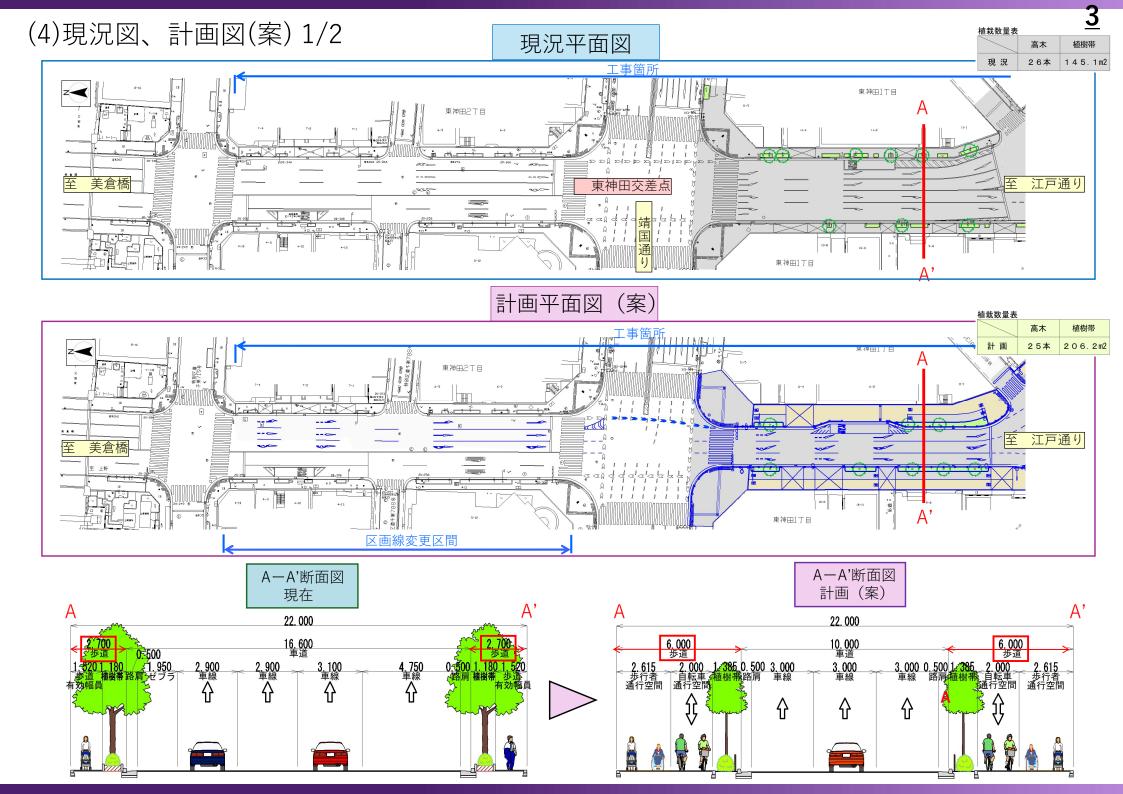
- ②歩道の保水性ブロック舗装(路面温度上昇の抑制)
- ④車道の遮熱性舗装(夏の路面温度を抑える)
- ⑥防護柵の設置(歩行者の安全)
- ⑧街路樹の整備(現在のイチョウから新たな樹種への植替え)

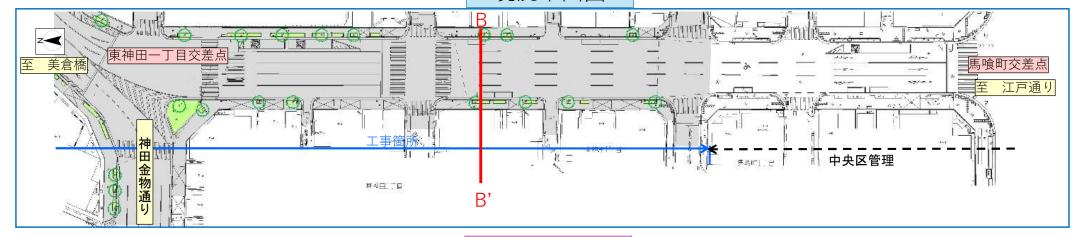




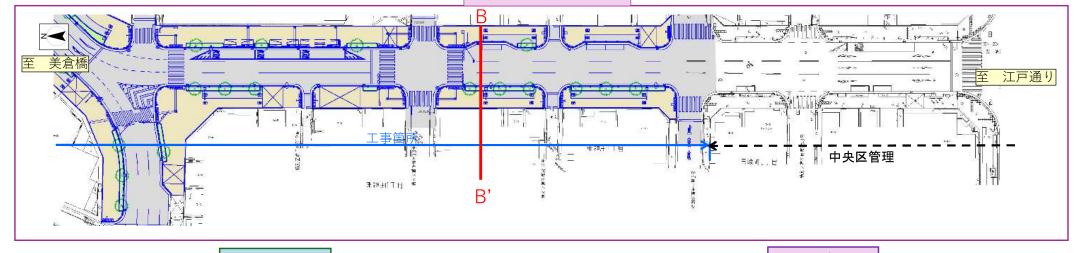


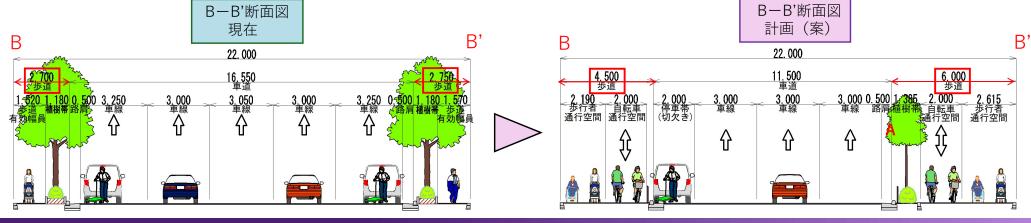




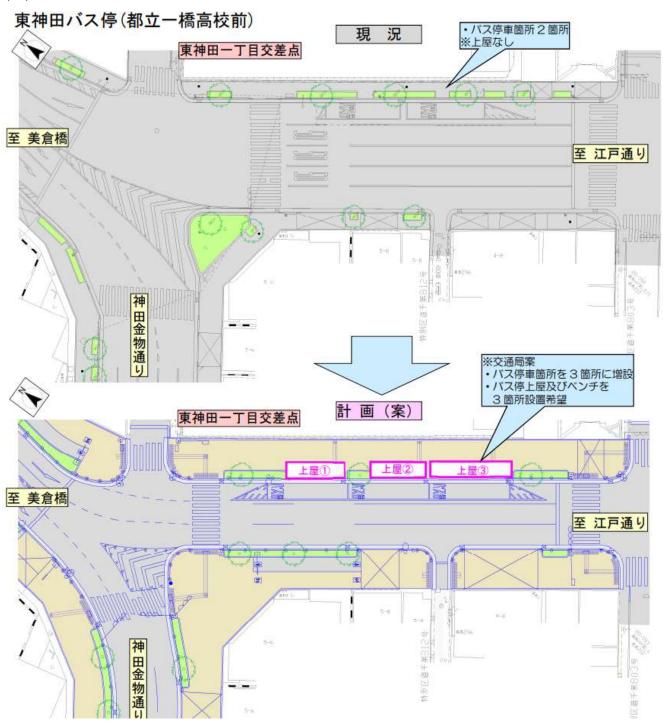


計画平面図 (案)





(5)バス停上屋設置について



【前回協議会でのご意見】

- ・バス停上屋は、3箇所も不要。
- ・1箇所あれば十分ではないか。

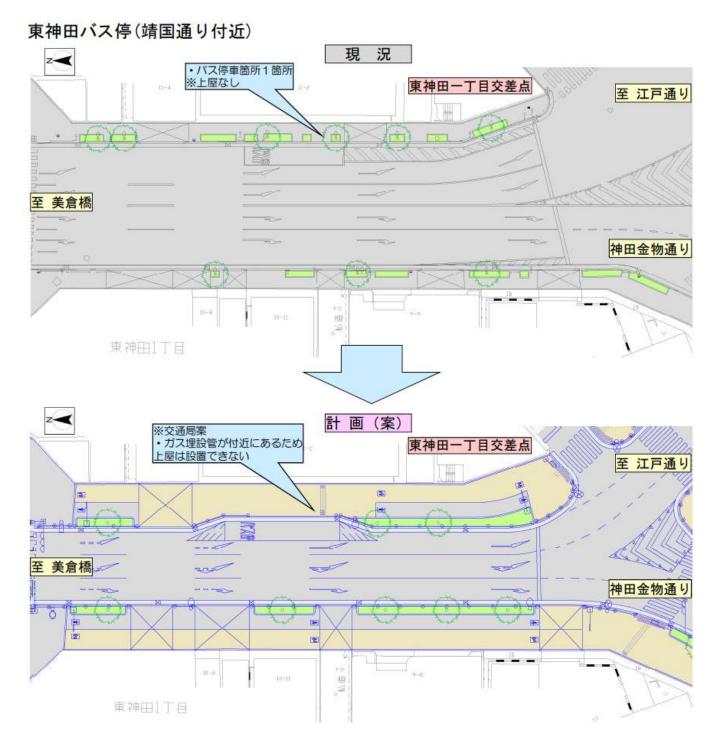


【東京都交通局 回答】

バス利用者より上屋を可能な限り設置して欲しいとの 要望により、3箇所設置を希望している。



バス停上屋(イメージ)



【千代田区 確認】

靖国通り付近にもバス停があるが、 上屋を設置するのか。

東京都交通局へ確認

【東京都交通局 回答】

バス停付近にガス埋設管があるため、 上屋は設置できない。



現地写真(バス停)

(6)意見聴取実施結果について

配付枚数	1384通(地権者送付119通含む)	
配付日	令和7年6月19日(木)	
回答締切	令和7年7月14日(月)	
回答数	181通(地権者回答23通含む)	
回答率	13.1%(地権者回答率19.3%含む)	

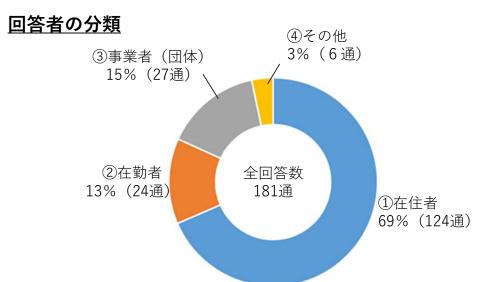
清洲橋通り意見聴取範囲図

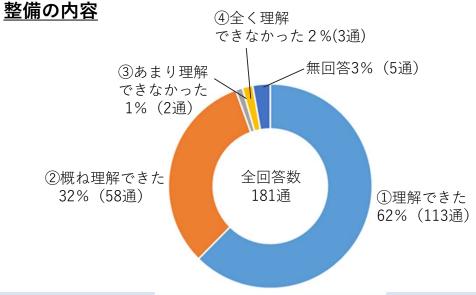


ご意見用紙

以下の選択肢から該当する箇所に○をつけてください。







94%の回答者が「理解できた」、「概ね理解できた」と回答

資料1

《ご意見をお伺いします》

清洲橋通り(靖国通りから南)道路整備について

日頃より千代田区の道路事業にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。 今般、現在検討中の「清洲橋通り(靖国通りから南)」整備の考え方(整備内容)について、 沿道の皆様のご意見をお伺いしたいと考えております。

大変お忙しいかと存じますが、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

清洲橋通り(靖国通りから南)とは 北は台東区、南は中央区に至る 道路幅員22mの延長10kmに 及ぶ道路の一部です。 場所の詳細は、右位置図のとおりです。

今後、この道路を通して 『地域のコミュニテイ』や『賑わい』を促進して いく場所として、さらなる役割を果たすため、 道路整備が求められています。

【位置図】 神田川 工事箇所 東神田一丁目交差点 ※国土地理院地図より抜粋・編集

【添付資料】

資料1 整備箇所の現状について 資料2 道路整備計画案について

資料3 ご意見用紙

【ご回答方法】

資料3ご意見用紙にご記入のうえ、

大変お手数ですが同封の返信用封筒にて切手を貼らずにポストへ投函をお願い致します。 ※窓口での受付はしておりません。

【回答期限】

令和7年 7月 7日 まで

【お問合せ先】

ご不明な点等ございましたら、下記担当までお問合せ下さい。 千代田区 環境まちづくり部 道路公園課

担当 梅本、西川

TEL 03-5211-4242

【整備箇所の現状について】

当該道路は、地元地域の生活基盤として重要な役割を担っています。 現状は、車が走る車線数が多く自動車優先の幅員構成であります。

当該道路は、幅員22mと比較的広い道路ですが、以下の課題から誰もが安全に安心して 通行できるとは言い難い状況です。

課題① 歩道幅員が狭い

歩行者空間が狭くすれ違いが困難

右写真のすれ違える幅が約 1.5mのみ であり接触の恐れがある。



課題② 自転車の逆走

当該道路は、北から南の「一方通行」の道路です。 しかしながら、右写真のように自転車が車両の 進行方向とは逆向きに走行することがあります。 交通安全上の危険な状況です。

車両の進行方向



現地写真

×自転車の逆走

資料2

課題③ 大きく成長した街路樹の問題

沿道にあるイチョウ 25 本とその他 1 本の街路樹について以下のような問題が見られます。

「大量の落葉」

落ち葉が増えて、歩道や道路がすべりやすくなる。 落葉の時期は、連日沿道の方々も清掃を実施している。



現地写真

「建物への接触」

枝が建物や標識に触れてしまう状況が発生



現地写真

「強風による倒木や枝折れ」による事故発生の懸念」

このようなことから、沿道住民等からは、将来、さらに大きく成長することへの懸念を抱かれています。

以上の課題を解決するために、令和6年8月7日に地元町会の方々をメンバーとした 「清洲橋通り南道路整備沿道協議会」が設立されました。

この協議会では、道路の改善方法について議論し、具体的な整備計画を検討しています。 (次のページに続く)

【道路整備計画案について】

1. 清洲橋通り南道路整備沿道協議会において検討してきた道路整備計画案

《課題と改善案の関係》

課題①歩道幅員が狭い

課題② 自転車の逆走

改善案① 歩道を拡幅する。

勾配や段差を解消するバリアフリー化する

改善案② 歩道内に歩行者と自転車が通れる場所を確保

課題③ 大きく成長した街路樹の問題



改善案③:街路樹の整備

(現在のイチョウから新たな樹種への植替え)

《整備計画案イメージ》



改善案① 歩道を拡幅 勾配や段差を解消

改善案② 歩行者·自転車通行確保

歩道内 歩行者・自転車通行確保イメーシ



外掘通り写真



改善案③ 街路樹の整備

資料3

この用紙のみ令和7年7月7日までに同封の返信用 封筒に入れ**切手を貼らず**ご投函ください。

ご意見用紙

以下の選択肢から該当する箇所に○をつけてください。

分 類 ①在住者 ②在勤者 ③事業者(団体) ④その他(

整備の内容 ①理解できた ②概ね理解できた

③あまり理解できなかった ④全く理解できなかった

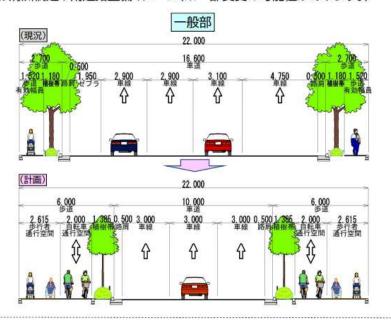
【ご回答欄】

清洲橋通り(靖国通りから南)の道路整備計画案についてご意見をお願いします。

その他、千代田区の道路について、ご意見ご要望がございましたらご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

2. 清洲橋通り南道路整備イメージ(※一部変更の可能性があります。)



《協議会でまとまった主な整備内容》

①歩道の現況 2.7m から 6.0mへ広げる。

②両側の歩道の中に自転車通行空間ができる。 (自転車通行空間幅は約2.0m確保)

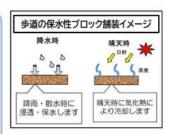
③街路樹を植え替える(イチョウから新たな樹種へ)

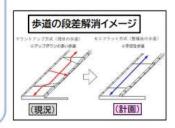
④歩道の保水性ブロック舗装(路面温度上昇を抑制)

⑤車道の遮熱性舗装(路面温度を抑える)

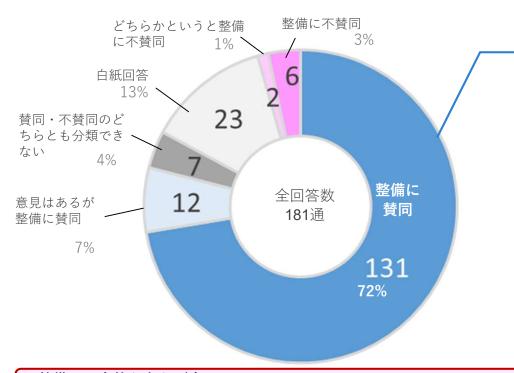
⑥街路灯の LED 化(環境配慮・省エネ)する。

⑦防護柵を設置する。





▶ご意見を記載していただいた内容から整備に対する賛否を整理したところ以下の結果となりました。



<整備に否定的な主なご意見>

- ●計画内容への反対・懸念
- ・現状のままでよい、何もしなくてよい。
- ・歩行者と自転車の通行空間を確保しても、マナーの問題が解決されなければ事故が起きる。
- ・歩行者と自転車を色で分けるだけでは不十分。完全に分離するか、ガードレール 等を設置すべき。
- ・3車線に減らすことで、靖国通りから曲がってくる車と合流する際に渋滞や事故が起きるのではないか。
- ●街路樹の植え替えへの反対
- ・街路樹の植え替えは反対します。毎年の黄葉を楽しみにしています。
- ・樹種を変更しても落葉はあるのでは?
- ・伐採には大反対。
- ●計画の前提や進め方へのご批判
- ・交通量が多くないこの道路に広い車線を設けた当初の計画が間違っている。
- ・再度税金をかけて整備すること自体がおかしい。
- ・他にも優先して整備すべき道路があるのではないか。

<整備に替同する主なご意見>

- ●歩行空間の改善について
- ・歩行者や自転車にとってプラスであり、交通量を考えても妥当な計画だと評価する。
- ・歩道が広くなること、自転車と歩行者の空間が分けられることは安全で非常にありがたい。
- ・現状の歩道は狭く、すれ違いが困難であるとの指摘が多く、特にベビーカー、車いす、 スーツケースを持つ観光客とのすれ違いに不便を感じていたため、拡幅を歓迎する。
- ・マンションや保育園が増え、子供の通行が多くなったため、歩道を広くして欲しい。
- ●自転車交通の安全性向上について
- ・自転車の逆走が多く危険なため、自転車通行空間が整備されることに対して評価する。
- ・自転車の通行ルールが曖昧であったため、改善案に賛成する。
- ・危険な自転車のマナーに日頃から困っていたため、整備を歓迎する。
- ●街路樹・景観について
- ・イチョウの落ち葉の清掃が大変であるため、他の樹種への植替えに賛成。
- ・イチョウの葉は雨の日に滑りやすく危険である。
- ・手入れの行き届いていない植栽や、個人的に植えられた植物を整理し管理を望む。
- ・緑が少ないため、街路樹を増やしたり、花壇を設置したりして緑豊かな道路にして欲しい。
- ●全体的な計画について
- ・交通量から5車線は不要と感じていたため、車線を減らして歩道を拡幅する案はバランスが取れており替成である。
- ・インバウンドの増加など、社会状況の変化に対応した計画である。
- ・計画の早期実現を望みます。

<その他 個別の要望・問題提起等>

- ・時間制限駐車区間(パーキングメーター)は残して欲しい。
- ・トレーラーの通行による騒音や振動が酷く、通行を禁止して欲しい。
- ・工事期間中の騒音や安全性、利便性について、具体的な説明が欲しい。

▶ご意見に対する区の見解の整理

- ●計画内容への反対・懸念
- ・現状のままで問題ない、何もしなくて良い。
- ⇒地域からのご要望を受け、本事業を計画し、整備を行うものとなりますので、ご理解をいただければと存じます。
- ・歩行者と自転車の通行空間を確保しても、マナーの問題が解決されなければ事故が起きる。
- ⇒自転車のマナーについては、警察とも協力し引続き啓発活動を行いた いと考えております。
- ・3車線に減らすことで、靖国通りから曲がってくる車と合流する際に 渋滞や事故が起きるのではないか。
- ⇒警察と十分協議を行い安全に合流できる道路の線形を決定しております。引続き安全対策に留意したいと考えます。
- ●街路樹の植え替えへの反対
- ・長年親しんできたイチョウ並木を残して欲しい。
- ・伐採そのものに強く反対する。
- ⇒歩道を拡幅すること、イチョウが歩道に対し大きくなりすぎていること、落ち葉の課題等から、これまで議論をしてきた結果となりますのでご理解頂けますようお願い申し上げます。
- ・樹種を変更しても落葉はあるのでは?
- ⇒常緑樹に植え替えた場合は、落葉が少なくなるため、落葉の課題の対 策になると考えております。

●計画の前提や進め方へのご批判

- ・交通量が多くないこの道路に広い車線を設けた当初の計画が間違っている。
- ・再度税金をかけて整備すること自体がおかしい。
- ⇒道路が出来た当初から交通事情が変化してきておりますのでご理解賜りますようお願い申し上げます。
- ・他にも優先して整備すべき道路があるのではないか。
- ⇒ご要望をいただいていること、歩道が狭い、自転車が逆走するなどの課題がある路線で、整備の優先度は高いと考えております。引続き整備にご協力をお願い致します。

●個別の要望・問題点

- ・時間制限駐車区間(パーキングメーター)は残して欲しい。
- ⇒警察と協議のうえ、パーキングメーターを残す箇所もございます。
- ・トレーラーの通行による騒音や振動が酷く、通行を禁止して欲しい。
- ⇒通行規制については、区で対応できないため、警察に情報共有いたします。
- ・工事期間中の騒音や安全性、利便性について、具体的な説明が欲しい。 ⇒工事に先立ち工事PR行ったうえで、騒音や安全面に十分配慮し施工を 行います。工事中はご不便をお掛け致しますがご理解賜りますようお願い 申し上げます。

(7)植替樹種について(高木)

高木(案)一覧表

Γ	樹木名	オウゴンモチ	常緑ヤマボウシ 月光	サルスベリ	ハナミズキ(赤)
	科名・属名	モチノキ科 モチノキ属	ミズキ科 ミズキ属	ミソハギ科 サルスベリ属	ミズキ科 ミズキ属
	樹木写真				
	常緑/落葉 開花時期	常緑樹 4月 12月~3月	常緑樹 5月下旬~7月 10月頃	落葉樹 7月~9月	落葉樹 4月下旬~5月下旬 10月頃
1	典 果実 数 適地	12月~5月 豪雪地域以外。耐寒性はやや弱い。日向を好む。			10万頃 本州。風通しや日当たりが良く湿気のある所を 好むが、耐寒性がやや弱い。
	樹高	2~5m	5~8m	5~8m	5~8m
		10m — — — — —	10m ———————	10m	10m — — — — —
	空間特性	5m —	5m —	5m — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	5m —
17. 11. 1	推 耐病虫害性	すす病が付着することがある。 カイガラムシ類に注意。		普通。 カミキリムシに注意。	普通。 うどんこ病に注意。
3	里 剪定頻度	3~5年毎	2~3年毎 夏以降の剪定に注意する。	2~3年毎	3~5年毎
	(スの供)	春から夏にかけて葉の色が明るい黄緑色となる。 再萌芽や先端部分は常に黄色を保つ。 生垣やシンボルツリーに適している。	常緑なのに紅葉し、白い花、赤い実と四季折々に楽 しめる。 落ち葉が少なく、沿道の方々への影響が小さい。	支がりが休にがりてめるく口が心を切りる。	春に薄紅色の花、秋には赤い実がなり紅葉し 四季折々に楽しめる。 生垣やシンボルツリーに適している。

(8)植樹帯内の植栽について

植樹帯に植栽する樹種について

道路の植樹帯にはオオムラサキツツジ等の低木を植栽することが一般的です。

緑量があり、花を楽しめる一方、低木にゴミを捨てられる課題があります。

【案1】地被類(グランドカバープランツ)を植える案



ヤブラン (例)



ヤブラン (開花イメージ)

【案2】現況と同様に低木(オオムラサキツツジ等)を植える案



現況写真



オオムラサキツツジ(開花イメージ)

▶植樹帯のイメージ

